

『王とサーカス』

米澤穂信著 東京創元社 913.6/Y84

雑誌の取材のためにネパール入りしていた大刀洗万智は、偶然王族の殺害事件に遭遇します。記事にするため現地に留まり取材を始めますが、彼女の身にも危険が迫ってきて……。何のために見、何のために書くのか。そして最後にたどりついた痛ましい真実とは？ 2004年に発表され話題になった『さよなら妖精』の衝撃をもう一度！

『イギリスの家庭料理』

砂古玉緒著 世界文化社 596/Su73

「イギリス料理＝おいしくない」と聞きますが、たぶん誤解です。この本を見る限り、とてもおいしそう。材料も日本で手に入りやすい物にアレンジしてあるので、休日に挑戦してみませんか？

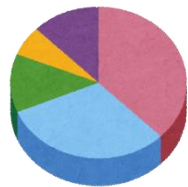
『コンピュータのひみつ』

山本貴光著 朝日出版社 548.2/Y31

メカニズムはわからないまま日々使いこなしているコンピュータ。多くの人にとってブラックボックスであるコンピュータの仕組みを、どんな入門書よりもわかりやすく解説してくれています。

『ビジュアル 日本の製品シェア図鑑』全4巻

こどもくらぶ編 WAVE 出版 602.1/B42/1-4

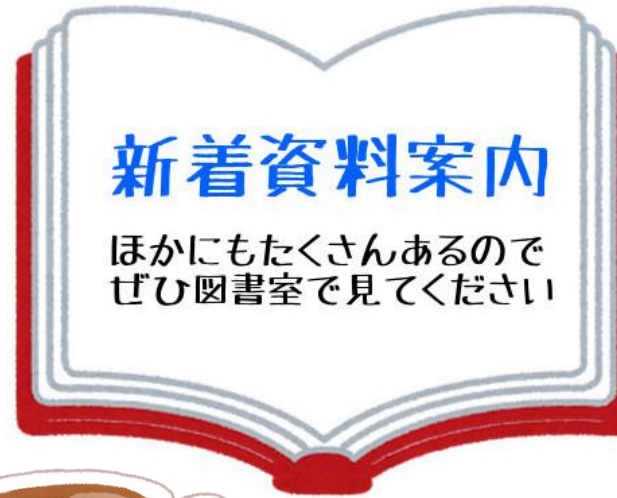


世界における日本製品のシェアを紹介しています。家庭用ゲーム機の販売台数1位は、任天堂。2位ソニーと合わせて、8割が日本の会社のシェアです。白色LEDの1位は、日亜化学工業。多関節ロボットの1位ファナックも日本の会社です。けっこう知らないものですね。

『くらべて見る地図帳』全6巻

吹浦忠正監修 学研教育出版 290/F73/1-6

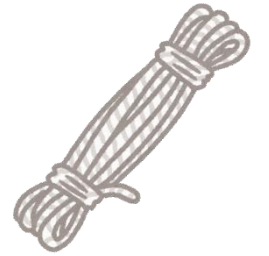
世界地図の、ロシアであるはずの場所に、なぜか「中国」の文字。カナダは「インド」。日本の場所には「ブルキナファソ」。これ、実は人口の多さに国の広さを比例させた世界地図なんです（1巻44頁）。このように、視点を変えた地図がたくさん掲載されていて、新しい発見を与えてくれます。



『海の訓練ワークブック』 日本海洋少年団連盟監修

成山堂書店 557/N77

海洋少年団が日々行っている訓練をもとに、海の知識を伝授します。海図の読み方や、手旗信号、海での泳ぎ方など。ロープワークもばっちりです。



『マイナンバー国家改造計画』

梅屋真一郎 日経BP社 317.6/U73

社会保障と税の共通番号、いわゆるマイナンバーが、ついに導入されました。このことは日本をどう変えていくのでしょうか？ 他国の先例と照らし合わせながら、解説していきます。

『脱ネット・スマホ中毒』

遠藤美季著 誠文堂新光社 493.74/E59

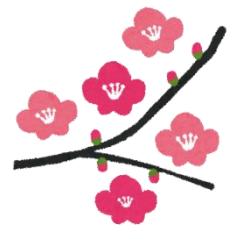


SNS やソーシャルゲームなどが、コミュニケーションツールのひとつとして広まった一方で、過度に依存してしまうケースが社会問題になっています。意識が高いのか、新着本の棚から手にとってパラパラ見ている生徒も多い本です。

『読みたい万葉集』

村田右富実監修 西日本出版社 911.12/Mu59

春日山に住む鹿先生は、今日も万葉集の研究におおいそがし。そこへ1羽の小雀（名前は鳥子ちゃん）がやってきて、万葉集について教えてほしいと言います……。中のイラストと色合いがかわいい本です。



『国を救った数学少女』

ヨナス・ヨナソン著 西村書店 949/J71

南アフリカの貧しい少女・ノンベコは、数学好きで賢く、困難を前にしても持ち前の機転で乗り越えている。ある日、余った爆弾を偶然手にしてしまい、世界中を追われるはめになり……。出てくる人もはちゃめちゃ、展開も驚きの連続ですが、民族の問題なども織り込まれていて、時にしみりします。

